

2025年度 第3回 AM ライン幹事研究会 かわら版

2025/9/29 3班

(目的) ライン幹事研究会企業訪問によるトピックスを記録に残すとともに、幹事と共有し、自社、自職場で横展したいものは横展する。

日時：25年9月19日（金） 9：00～11：30	訪問先： 日本製鉄㈱名古屋製鉄所	参考：「地域とともにお客様とともに」 日本製鉄㈱ 1958年、東海製鐵株式会社として、発足 ※粗鋼生産量(年間)553万t/敷地面積632万㎡(ナゴヤドーム131個分)/従業員数3130人
参加者：岩田副世話人、若山幹事、市川幹事、手島幹事、小林幹事、神谷幹事、吉田幹事、小倉幹事、倉橋幹事、		

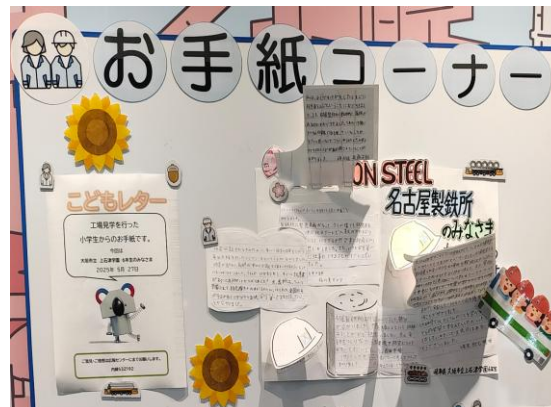
〔説明内容〕

- ・会社概要
- ・製品品目
自動車関連
高機能鋼材製品
- ・SDGsへの貢献
- ・地域との共生
環境保全や教育支援
- ・TAC (QC) 活動について



〔トピック〕 ゲストハウス内

見学された小学6年生からのお礼の手紙が掲示(岐阜県 大垣市立)



〔学んだ事〕 良かった点・気付いた点 (箇条書き)

- ・名古屋製鉄所 独自のTAC活動 (Total Active For Creation) を実施している
- ・全社(日本製鉄全体)の粗鋼生産量は年間6600万トン 国内シェア44%で1位 世界4位
- ・ミニ四駆大会など楽しさ含めた運営を企画 (現場主幹運営に向けての教育支援)
- ・TAC指導師会は150名が在籍しており、認定試験制(80点以上で合格)班長職がメンバー
- ・熱源が近く過酷な職場に感じるが人は殆ど居ない、設備を遠隔で操作して安全に考慮
- ・敷地内に保育園、病院、ガソリンスタンド等があり病院は地域の方も利用ができる
- ・地域との共存を強く意識した会社 (工場) 地域住民への粉塵対策で工場内に常に散水
- ・高炉の水素還元や鉄鋼スクラブを利用したブルーカーボンの基礎研究を実施している
- ・SDGsとして水、ガス、電気をリサイクルし工場内で再利用している
- ・製鉄所内には火力発電所が3つあり、有事の際には東海市3日分の電力を保持してる

